

# なぜ申し入れに議会の同意が必要だったか

## 議会との合意が必要であったか



諸木 悦朗 議員

体性が強く求められてい  
ると感じ、議会との連名  
でお願いすることが必要  
と判断した。

なぜ、もっと早く  
申し入れなかったか

諸木議員

大崎町議会は、志布志  
市との合併に関して、2  
度の決議をしている。な  
ぜ、もっと早く持つてい  
けなかったか。

議会との合意の上で

町長

議会との話し合いの場  
を持てればという事が  
あったので、どうしても  
8月に申し入れをする場  
合、議会との合意を事前  
に得なければならぬと思  
っていたので、7月31  
日の特別委員会をお願い

町長

志布志市に法定合併協  
議会設置の申し入れを正  
式に行うにあたり、執行  
部のみの意思表示では不  
十分であり、議会との一

したところである。

もっと早めの動きは

諸木議員

志布志市の6月定例会  
で、本田市長が質問に対  
して、今後大崎町が何ら  
かのアクションを行うだ  
ろうと答弁されていた。  
先方は待つていたのに町  
のトップとして、なぜも  
う少し早く動けなかった  
か。

合意形成で

町長

合意形成という事が、  
常に相手方の話の中で出  
ていたので、このままで  
は前に進むことは難しい  
と判断し、今まで努力し  
てきたが、こういう結果  
が出た。

町長独自で文書申  
入れをすべきでな  
かったか

諸木議員

執行機関のトップとし  
て、自分自身の判断で文  
書の申し入れができな  
かったか。

私の判断でやった

町長

どうしても、議会との  
連携でやって行きたいと  
いう私の判断でそのよう  
にした。

町民への周知は  
わかりやすい表現で

諸木議員

「広報おおさき」8月  
号での町民向け暑中お見  
舞いの記事の中で、合併  
問題について触ている  
が、あの曖昧な表現の仕  
方では、町民は疑心暗鬼  
に陥り、戸惑いがあると  
思うがどうか。

事実を伝えた

町長

事実を事実として伝え  
た。広報紙の内容につい  
ては、最終的には、私の  
責任である。

公約としての実現は

諸木議員

町長は合併を推進する  
という2期目の公約をど  
のように考えているか。  
そのときの町民の強い希  
望は合併であったという  
のは明白である。そこで  
今後、この合併問題をど  
のように進めていきたい  
と考えるか。

道筋はつけていく

町長

志布志市との合併協  
議会の設置申し入れが、出  
来なくなつたので、これ  
から先、合併に向けて、  
その道筋はつけていくよ  
うに努力する。

民意に反しないか

諸木議員

仮に、このまま何もし  
ないのなら、民意に反す  
ることを、議会も町長も  
することになるが、どう  
進めていくのか。

努力していく

町長

合併については、議会、  
執行部ともに努力をして  
いかなければならないと  
思っている。